

# 令和7年度第1回水戸市立博物館協議会

日時 令和7年7月11日（金）  
午前10時から  
場所 水戸市立中央図書館  
3階視聴覚室

## 議 題

### 1 報告事項

- (1) 特別展「人形百花譜 ～雛人形を中心とした節句人形たち～」の結果について
- (2) 特別公開「『戦国武将書翰集』の世界」の結果について
- (3) 令和6年度博物館事業の実施結果について

### 2 協議事項

- (1) 「戦後80年事業 いま、戦争を語るということ ―水戸市立博物館所蔵品と河口龍夫《HIROSHIMAのタンポポ》を通して―」の開催について
- (2) 特別展「洋服と和服の100年 ～戦前・戦中・戦後の衣服の変遷～」の開催について

### 3 その他

※ 閉会後に、「戦後80年事業 いま、戦争を語るということ ―水戸市立博物館所蔵品と河口龍夫《HIROSHIMAのタンポポ》を通して―」の会場を御案内いたします。

## 水戸市立博物館協議会委員名簿

(任期：令和6年7月15日～令和8年7月14日)

氏名	役職等
桐原 幸一	茨城生物の会会長
笹目 礼子	県立歴史館歴史資料課長
桑名 実	市学校長会代表・稲荷第一小学校校長
河原 将子	市文化振興協議会副会長
中庭 忠	水戸商工会議所副会頭
村山 朝子	茨城大学名誉教授
安嶋 隆	茨城生物の会副会長
小坪 のり子	県弘道館事務所主任研究員
添田 仁	茨城大学人文社会科学部教授
玉川 里子	学識経験者
塚原 正彦	牛久市議会議員・ みんなのミュージアムうしおくるプロデューサー
藤 和博	学識経験者
藤本 陽子	学識経験者
黒木 勇	市議会代表

(順不同・敬称略)

### 事務局名簿

氏名	役職等
小川 邦明	水戸市教育委員会事務局 教育部 歴史文化財課長
関口 慶久	同課 副参事兼課長補佐兼内原郷土史義勇軍資料館館長
鈴木 雅人	同課 水戸市立博物館長
藤尾 隆志	同課 水戸市立博物館 学芸係長(歴史部門担当)
小野瀬 永子	同課 水戸市立博物館 学芸員(民俗部門担当)
柿澤 晟也	同課 水戸市立博物館 学芸員(自然部門担当)
平野 明彦	同課 水戸市立博物館 学芸員(美術部門担当)
平井 佐知子	同課 水戸市立博物館 会計年度任用職員

## 報告事項(1) 特別展「人形百花譜～雛人形を中心とした節句人形たち～」

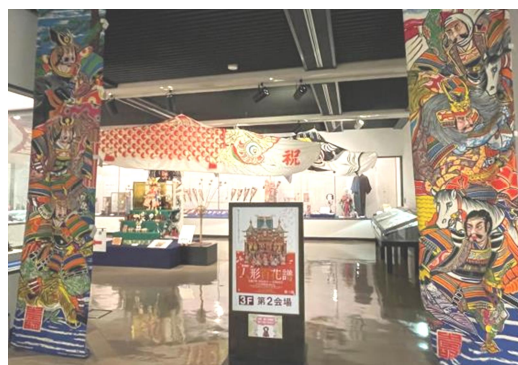
### 1 概要

かつて「7歳までは神のうち」と言われたように、乳児死亡率の高かった古来から、子どもの健やかな成長を願うために用意されてきた節句飾りや人形達。時代とともに形を変えつつも、上巳の節句（桃の節句）や端午の節句は今も恒例の行事として人形とともに祝われている。

当博物館には、市民からの寄贈や寄託による江戸時代から平成時代にかけての雛人形のコレクションがあり、また武者人形をはじめとする節句人形や節句飾りも収蔵している。当展覧会ではこれらの雛人形等約640点を展示し、節句行事の由来や成り立ち、時代の流れによる変遷を追った。



4階展示室



3階展示室

第1会場の4階では雛人形を中心とする上巳の節句飾りを展示した。まず入口に和室を作り年代の異なる段飾りを並べ、晴れ着を着付けたトルソーと共に展示し雛祭りに招かれたような空間を演出した。その後節句について説明し、雛祭りの成り立ち、雛人形の原型になった物から江戸時代の雛人形、明治・大正の雛人形、昭和初期の雛人形、御殿雛、昭和中期～平成初期の七段飾り、浮世人形、木目込人形、市松人形などを展示した。

第2会場の3階では端午の節句の由来の説明とともに鯉幟や武者幟、五月人形、座敷幟などを飾った。また地域によっては節句に飾られることもある天神人形や、同じく節句物である正月の羽子板や破魔弓も由来と共に資料を展示した。

**2 会期** 令和7年2月1日（土）～3月9日（日）32日間

**3 入場者数** 2,977人

【内訳】（有料入場者） 一般券 407人 割引券 79人  
（無料入場者） 招待券 879人 幼児 223人 小・中学生 385人  
高校生 14人 65歳以上 779人 その他無料入場者 211人  
※全入場者数に占める有料入場者の割合 約16.3%

**4 顧客満足度**

約91.7%（N=85） 満足65, やや満足13, 普通3, 無回答3

## 5 関連行事の結果

### (1) 木のおひなさまを作ろう

講師：茨城県立水戸高等特別支援学校生徒  
内容：木のパーツを貼って雛人形を作成  
日時：2月1日（土）13：30～／14：30～  
会場：中央図書館3階視聴覚室  
参加者：19名



### (2) リネンのひなまつりコースターを作ろう

講師：茨城県立水戸高等特別支援学校生徒  
内容：刺し子でコースターを作成  
日時：2月8日（土）13：30～／14：30～  
会場：中央図書館3階視聴覚室  
参加者：21名



### (3) ちりめん細工のうさぎのおひなさまを作ろう

講師：めぐみや茨城町店  
内容：ちりめん地でうさぎのお雛様を作成  
日時：2月16日（日）13：30～16：00  
会場：中央図書館3階視聴覚室  
参加者：20名



### (4) 水戸の雛巡りウォーキング

内容：徒歩で祐月本店雛蔵と茨城県護国神社の雛祭りを見学した。  
日時：2月28日（土）9：30～15：00  
会場：祐月本店、護国神社  
参加者：17名



### (5) ギャラリートーク

日時：①2月22日（土）②3月9日（日）  
いずれも13：30～14：30  
解説：当館学芸員  
会場：博物館3，4階  
参加者：①20名 ②18名



## 6 アンケート集計結果 (回答者数：85人)

### (1) 展覧会の広報について

#### ① この展覧会を何でお知りになりましたか？

ポスター	28
チラシ	31
広報みと	6
ホームページ	3
SNS	2
新聞	3

雑誌・タウン誌	
テレビ・ラジオ	1
人から聞いて	13
博物館・図書館に来てみて	21
その他	6

※その他 招待券、観光案内所等

### (2) 今回の展覧会について

#### ① 今回の展覧会で印象に残った資料はどれですか。

雛人形 (46)	木目込み雛人形 (9)	破魔弓・羽子板 (21)
江戸時代の雛人形 (12)	七段飾り (9)	その他(姉様) (3)
明治大正の雛人形 (19)	五月人形 (16)	ワークショップ (1)
御殿雛 (21)	天神人形 (9)	

#### ③ この展覧会に対する御意見や御感想をお聞かせください。

・文化財を手軽に親子で鑑賞できて良かったです。絵本よりもリアルなので子どもも色々感じたようです。

・子どもが初節句なので来てみました。雛人形の歴史が分かり雛祭りの意味を改めて感じる事が出来、心から初節句を祝いたいという気持ちになりました。

・見応えがあり情報量も多く学べる事が沢山ありました。もう一度来ます。

・耕雲作の鍾馗様ののぼりを初めて見る事ができ、感激しました。耕雲作2代目鍾馗様の絵画は絵画は栃木県茂木町出身の画家かと思われ、私も所蔵しています。いつの日か初代耕雲作の幟を見たいと思っていた所でした。また幸月の古田さんの雛人形が見れて感激しました。

・きらびやかでよかったです。できれば雛祭りの歌を静かな音量で流していただけると雰囲気が出てよかったですかなと思いました。

・普段は見られないものが見られて楽しかったし、同じものでも色々な種類があることも知れて勉強になりました。

・チラシがピンク色でやわらかい春一番の企画として1月から楽しみにしていました。昭和生まれとしては一つ一つが懐かしく大切に保存・保管していただきこのような展示をしていただき感謝です。

・雛祭りなどを深く知る機会がないため改めて雛祭りや男の子の日を知ることができた。これからはこれらの知識を思い出して雛祭りを楽しみたいと思います。

・今までは市外ばかり見学してきましたので雛人形を近くで(水戸市内)見学できて大変嬉しく思いました。

- ・雛人形というと真壁や各地の資料館で見るだけであったが、今日は歴史を知ることができたのはとても良かった。
- ・ものすごく見応えがありました！雛人形はもちろんですが、犬張り子が好きなので沢山見られて嬉しいです。五月人形もなかなか見る機会がないので見られて良かったです。
- ・我が家にある三春のおひなさま、是非こちらで展示して皆に見てほしいです。
- ・御殿雛を見たくて千葉から来ました。自分のお雛様が御殿雛でしたので懐かしかったです。
- ・色々な雛人形を見れて楽しかったです。是非またこのような特別展を開いてください。
- ・江戸時代や明治・大正時代の貴重な雛人形がみられて良かったです。来年もまた来たいです。
- ・昔の物なので仕方ないのですが匂いが気になりました。
- ・姉様人形で鳥取県のきびがらで作る顔・頭は明治39年生まれの母がよく作ってくれました。とうもろこしの柔らかい皮で毛を包み顔と日本髪 of 頭部にします。身体部分には布で着物を縫ってくれました。
- ・貴重な展示物を見ることが出来ました。昭和生まれですが、昭和50～60年代はまだ雛飾りが近所のあちこちで見ることが出来ました。今では雛飾りを見る機会が減り映像や画像によるものに限られています。今回は小学生の子どもと実物を見ることが出来、学ぶこと、楽しむことが出来ました。
- ・自宅にある人形や飾りの歴史や意味、成り立ちを知ることが出来面白かったです。今は少ない人形飾りを大切にしたいと思いました。
- ・項目毎の説明がわかりやすく、よく見ると衣装にも時代が現れていました。
- ・時代によって人形の顔が違うことを初めて知りました。実家にある雛人形と年代がほぼ同じ物があり楽しく見ることが出来ました。
- ・時代順に体系的に並べられていてわかりやすかったです。動画の展示があればもっと面白かったです。
- ・時代を写す人形たち。子どもの幸せを願う気持ちはどの時代も変わらないと思った。
- ・人形を飾る昔よりの習慣が大分廃れてきたので今日は懐かしい物を見られてとても嬉しくありがたく感じました。水戸市の幼稚園・小学校の子ども達にも是非見てもらいたいし、お年寄りが見ても楽しめると思いました。
- ・初めて見る紙雛等珍しい人形を見せてもらいました。羽子板も素晴らしかったです。
- ・天神人形がとても良かったです。
- ・駅前やSNSなどでもっと広報があれば良いと思った。
- ・こいのぼりがかっこいいと思いました。

### (3) 今後開いてほしい展覧会について

**自然** 水戸の地面、地形の変遷

**歴史** 水戸の歴史、水戸藩の歴史 / 水戸城について / 水戸城に関する発掘調査のまとめ / 幕末の水戸の様子、江戸の街道 / 徳川光圀 / 水戸地方気象台の歴史に関する展示

**民俗** 人形の歴史、作り方、制作者インタビュー、暮らし / 農人形、手彫仏像  
地震・水害など自然災害の特集 / 手作業のこと / クリスマスツリーの展示  
茨城県や水戸の伝承遊び、わらべうた / 水戸のバスの歴史、商店街の風景  
今回の雛人形のような日本文化に関する物。成人式の行事に関する物など晴れ着や元服の衣装・文化など

**美術** 林十江・立原喬所師弟展 / 水戸金工展 / 水戸に縁がある作家・画家など

### (4) 博物館について

#### ① 今まで博物館に来たことはありますか？

ア) よく来る 24人

イ) 何度か来たことがある 36人

ウ) あることは知っていたが来たことはなかった 9人

エ) あることを知らなかった 12人

#### ② 水戸市立博物館の魅力度についてどう感じましたか？

ア) 魅力的 36人

イ) やや魅力的 35人

ウ) ふつう 9人

エ) やや魅力不足 1人

オ) 魅力がない 0人

### (5) 博物館の全体的な展示、施設、運営などについて、ご意見やご希望がございましたらお聞かせください。(一部抜粋)

#### 【施設について】

居心地が良い / 駐車場が狭い / 高齢者には入りづらい構造になっている。

カフェなどがあったらドリンクを飲めて、ゆったりとみられると思います。

暗い印象があり空気がかび臭い / 室内が暗い

#### 【展示について】

常設展に元気がないように思えますので、常設展を強化されると良いと思います。

3Fの展示が綺麗に整頓されてきた。明るく見やすい。うさぎがいなくなった…？

昭和の時代の生活用品の展示は興味深かった。水戸の歴史も大変勉強になった。

#### 【運営について】

入館料安すぎますね(笑) もっと高くても良いと思います。

展示などもっと色々発信してほしい・もっとポスター等沢山PRした方が良いと思います。立派な展示なので沢山の人に見てもらった方が良いと思います。人数が少ないともったいないです。図書館に来て初めて展示を知ったので。

(6) 回答者について (計 : 85 人)

① お住まい

水戸市	44 人	
水戸市外 (県内)	24 人	ひたちなか市、那珂市、常陸太田市他
水戸市外 (県外)	7 人	東京都、いわき市、さいたま市他
無回答	10 人	

② 交通手段

電車	11 人	バス	6 人	自家用車	49 人
タクシー	1 人	バイク	0 人	自転車	5 人
徒歩	21 人	その他	1 人	無回答	1 人

③ 性別

男性	16 人	女性	50 人	無回答	19 人
----	------	----	------	-----	------

④ 年齢

9 歳以下	7 人	30 代	9 人	60 代	16 人
10 代	10 人	40 代	9 人	70 代以上	12 人
20 代	2 人	50 代	9 人	無回答	11 人

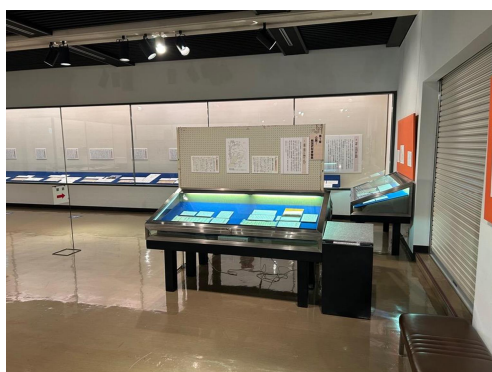
## 報告事項(2) 特別公開「『戦国武将書翰集』の世界」の結果について

### 1 概要

「戦国武将書翰集」は、織豊政権の中枢で活躍した人物（足利義昭・豊臣秀吉・明智光秀等）や各地の戦国大名（長宗我部元親・大内義隆・斎藤道三・北条氏政等）から出された書状 15 点で構成される資料群である。近年、水戸市内で発見され、現在当博物館に寄託されている。これまで紹介される機会がなく、その発見は学術的にも重要な意義を持つ。

本展示は、「戦国武将書翰集」を初めて展示公開する場を設け、これらの古文書が持つ豊かな歴史情報を、来場者にわかりやすく伝えることを目的に開催した。また、「戦国武将書翰集」と共に寄託された水戸藩関係資料（徳川斉昭関係の書状・書画等）もあわせて展示することで、新発見資料の全容に触れる機会とした。

本展覧会は、JSPS24K00109 基盤研究(B)「『原本史料情報解析』の手法による益田家文書を中心とした中世武家文書の史料学的研究」（代表 村井祐樹）の協力を得て実施した。



3階展示室1



3階展示室2

2 会期 令和7年3月22日（土）～5月25日（日）（56日間）

3 入場者数 2,915人 ※無料

### 4 顧客満足度

約 95.6% (N=114) 満足 86, やや満足 23, 普通 5, やや不満 3, 不満 2

### 5 関連行事の結果

#### (1) ギャラリートーク

期 日：令和7年①3月22日（土）、②4月20日（日）、③5月3日（土・祝）、  
④5月18日（日）各日とも 14:00～14:30

講 師：藤井達也（水戸市教育委員会歴史文化財課）

会 場：水戸市立博物館3階展示室

参加者数：①3月22日 25名 ②4月20日 38名

③5月3日 27名 ④5月18日 50名



## 6 アンケート集計結果 (回答者数：117人)

### (1) 展覧会の広報について

#### ① この展覧会を何でお知りになりましたか？

ポスター	18	雑誌・タウン誌	5
チラシ	32	テレビ・ラジオ	1
広報みと	6	人から聞いて	7
ホームページ	15	博物館・図書館に来てみて	9
SNS	30	その他	3
新聞	10		

※その他 人から聞いて1 / ネットで知った1 / 雑誌「サクラサク」で知った1  
他館に掲示されていたポスターで知った(下妻市ふるさと博物館) 1

### (2) 今回の展覧会について

#### ① 今回の展覧会の内容について、どう感じましたか？

良くわかった	75
だいたいわかった	27
普通	5
少し難しかった	3
難しかった	2
無回答	2

#### ② この展覧会に対する御意見や御感想をお聞かせください。(一部抜粋)

##### 【全体に関わる感想】

- ・貴重な古文書を間近で見ることができ、大変ありがたく思いました。今後も資料の活用を期待いたします。
- ・書簡には詳細を書かず、〇〇に聞いてくださいと記してある点が、用心していると実感している。斉昭公の模写の緻密さにも感動！あの方は水戸藩の誇りです。どれほど集中力のある方なのだろう！！と想像しました。ありがとうございました。
- ・これだけまとめて全国の戦国史研究に新情報を提供する大発見ですね。進展に期待します。
- ・四国の歴史の流れが少しわかりました。又この機会をできたらと思います。
- ・私が見た、おぼえた事を頭に入れて、もう一度考えなおして見ている。いろいろとその時の事が少しわかったような気がします。もう少しわしくわかればおもしろいと思います。
- ・私には社会的コミュニケーションの障害がありますが、戦国武将や臨濟宗の僧侶が密にコミュニケーションを取っていたことが覗えて興味深いです。ただ、古文書自体は所々漢字が読める程度で、翻刻されても近世に見られる古文なので、高卒程度の古典の学力では読みこなせず、大変情けない思いをしました。内容的には、政治

史と軍事史に関するものなので、極悪人同士の駆け引きといった感が強く、恐怖を覚えました。それに対して、私は宗教史に興味があるのですが、教如が政治的に振る舞っていたり、安国寺惠瓊が外交僧や大名になっていたりするなど、浄土真宗や臨済宗が政治と癒着していたことがわかり、残念に思いました。

- またこういう展覧会を希望します。もっとたくさんの人に知ってもらえるといいですね。
- 貴重な資料を身近な博物館で無料で見れて、とても嬉しく感謝しています。何年かに一度でもまた見たいです。(説明が分かりやすかったです)
- 毛利家目当てでしたが、大内義隆の手紙まで拝見できてとても満足です。ありがとうございました。来られたらまた来ます。
- いろんな武将の書状があつたのしかつたです。
- 素晴らしいコレクション。水戸ならでは。
- 戦国末期の中国地方の動きがわかりおもしろかつた。
- 中国地方の書翰が多く大変勉強になった。是非大型の企画展・特別展の開催を検討して欲しいです。
- 戦国時代の書状はすばらしいの一言。武将は頭が良い方で字もすばらしい教育がなされていたことがわかります。
- 戦国時代についてのとても貴重な資料だと思いました。小説やドラマに出てくる武将たちの新たな一面をすることができました。
- こんなに貴重な文書がこれほどまとまって発見されることがあるんですね。驚きです。一つ一つの文書が発信している情報が、日本の戦国時代を理解するのにいかに有効か、重要か、釈文と解説からも教えていただきました。正文・原本あるいは精度の高い写しということで、文書それぞれに迫力がありました。戦国史時代の研究が今後ますます豊かになることが想像されます。ワクワク、興味津々で拝見しました。おもしろかつたです。
- こんなにすばらしいものが今も残っていることにびっくりしました。
- バリエーションに富み、今後の研究と進展が楽しみな資料ですね。また、斉昭関連の書は、好文亭の物見手引きとも同時代で、流用された可能性を感じました。諸国会要の養蜂の図は、水戸藩資料に載せられているものですね。今後の分析が楽しみです。
- 普段は戦国時代テーマのゲームをやっていて、知っている武将たちの書状を拝見できて、とても感激した。
- 当時の武将たちの複雑だけど奥の深い世界を知ることができた。このような展覧会があればまた来たい。
- 戦国についてほとんどわからなかつたが、地元ということで少し興味がわきました。大学の課題として訪れたのですが、水戸の歴史は全然知ろうとしていなかつたので、また機会があつたら、学びに来たいです。
- 小早川の病など、わからないことが史料で分かつた。
- 戦国武将が直接書いたものではないかもしれないが、その時の思い思いを文字に著

したことで、今に伝えられていると思うと、残ってくれてありがとう。とても勉強になりました。と思っています。

- ・字が上手！（当然のことなのかもしれませんが）花押が素晴らしい。
- ・非常に興味深い資料と内容でした。水戸で拝見できたこと、とても嬉しく思いました。今後の企画展も楽しみにしています。ありがとうございました。
- ・千葉から来たので、北条氏政が千葉一族の原氏にあてた書状があつて、勉強になりました。
- ・松平昭訓の書を見て「七才の字ではないのでは……？」と感じた。普段から筆を使い書に触れていたからこそその書なのだろうと考えた。時代を感じられてたいへんおもしろかった。
- ・我々の先祖の努力や英知が良く解ります。今回は観に来るのが遅すぎて我ながら悔やまれます。次の機会を心待ちにしております。
- ・最終日に再度来訪させて頂きました。素晴らしい文書群、再見の機会を楽しみにしております。『戦国武将書翰集』ぜひ国会図書館へも所蔵されるような対応頂けると嬉しいです。
- ・新発見の貴重な資料の数々を拝見できてとても良かった。各史料の解説なども丁寧で分かりやすかった。今後も織豊期周辺の企画展が開催されたら嬉しい。
- ・貴重な書状なので、多少の見学料はとってもよいと考えます。
- ・本多忠勝を研究している身の上であるので、忠勝宛の木村一書状は大変興味深かった。
- ・教科書で学ぶような武将たちも。まだまだ新しい発見があることに驚きと、歴史のロマンを感じました。また、そのような歴史的価値のある史料が水戸から見つかったことが不思議と誇らしい気持ちになりました、個人的には読むポイントが示されていて、とても理解いやすかったです。訪れてよかったです。
- ・古文書を学んでいる者にとり、楽しいひとときでした。
- ・光秀書状の欠損が3行であった旨の根拠が分かると良かったと思います。写本が存在したのでしょうか？報告書の市販があると良かったと思います。（職場宛お送りいただきありがとうございました）
- ・展示文書がどのような歴史を経て伝わってきたか分かると、背景も含め全体像が見えたような気がする。

#### 【行事に関わる感想】

- ・藤井さんの解説がわかりやすくおもしろかったです。また企画して欲しいです。
- ・ギャラリートークがわかりやすく良かったです。

#### 【展覧会に対する意見】

##### ア. 展示方法・内容

- ・展示方法がわかりやすかった。原文・書いた方・内容・ポイント・原文の書・解説と1つのものに対していろいろな方法で確認できたのでよかった。
- ・キャプション類が丁寧でわかりやすく書かれていて大変参考になりました。

- ・「書状を読むポイント」があってよりわかりやすかった。
- ・展示資料の解説だけでなく、時代背景や登場人物の詳細な情報など、丁寧に細かく説明がされており、とても興味深い展示内容であった。
- ・古文書の知識がなくても、現代語訳があったおかげで、楽しく見てまわることができた。
- ・ていねいに説明があり、書簡の内容も、漢字と現代記とあり、とても分かりやすく、初心者でもなじめました。ポスターではわからない良さです。
- ・各手紙に地図を作ってくれていたのも、居城等の位置関係が分かりやすかったです。
- ・原本はともかく、作られたパネルの印刷物が欲しかったです。釈文を大意ではノートにかきうつすも、文書で疲れてあきらめました。パネルにある point のついていなくて。考古なので古文書得意ではない者にも、これら（パネルに記載の point 等）のおかげで興味深くみさせていただけました。あと紙について少し説明があったらと思いました。遠くまで来たかいがある展示でした（さいたま市）
- ・戦国時代の一面をこの書によって証明・立証されたとするポイント表示はとても良かった。
- ・文書については釈文、大意が書かれていてわかりやすかった。解説の文については、くわしくない地域に関しては背景がわかり辛いと感じました。様々な地域の紙質の違いを見比べれる点が面白いと感じました。

#### イ．展示会場関連

- ・室内が暑かったです。
- ・少しマンガとかをつけて簡単に理解できるコーナーもほしいな……
- ・ふつうに休み所として使っています。
- ・ゆっくり椅子に座って展覧できる所が良い。

#### ウ．情報発信

- ・せっかくいいものなのに、広報が足りないと思う。

#### 【報告書と図録刊行要望関連】

- ・図録もしくはパンフレット刊行お待ち申し上げます。
- ・報告書が非売品であるのが大変残念です。
- ・写真撮影ができない点は資料保護などの諸事情であることは理解できるがその代わりの図録の販売をしてほしかった。しかし資料の翻刻があることや現代語訳、図を用いた解説が作成されている点は大変良かった。
- ・水戸藩関係もふくめた全体の図録がほしい。詳しい説明も記憶が残らないです。
- ・展示資料の刊行本情報があればいい。斉昭、慶喜書状の活版本とか、日記類とか。
- ・図録が無かった（作れなかった）のが残念でしたが、見られて良かったです。非売品の「戦国武将書翰集」閲覧で楽しめます。
- ・図録を販売して欲しいです。
- ・図録（江戸氏のを含む）が欲しい。是非刊行（再刊）してください。
- ・今回を含め、完売している図録の再版を希望します。

### (3) 今後開いてほしい展覧会について

#### ア 歴史

水戸市の古墳／水戸の平安、鎌倉、南北朝、戦国に関するもの／戦国武将に関する資料／江戸や佐竹といった戦国時代のもの／戦国武将のかぶとの展覧会／「郷土」にこだわらず水戸を含む広域を前提にしてもいいのでは／茨城の海運／水戸城／水戸の鉾山／水戸の神社と寺／天台宗と真言宗の対立（絹衣相論）／徳川関連／水戸光圀について／水戸藩主各代について／江戸時代からの商業都市水戸の歴史／幕末に関するもの／天狗党／幕末の攘夷論について／明治維新後の武士／市になってからの歴史／戦後以降の水戸市の変遷／駅南開発／千波湖の干拓／弓道、剣道、生け花の時代の流れ／絵図／古文書等の展示／今回のようなもの「手紙」（江戸氏の回もよかった）

#### イ 民俗

着物

#### ウ 自然

水戸の成り立ち／触れるものを増やしてほしい。／古生代あたり／魚／水戸にある植物・生き物（主に哺乳類）／剥製をもう少しかざしてほしい。コウモリや熊・蜂・トカゲも飾ってほしい。

### (4) 博物館について

#### ① 今まで博物館に来たことはありますか？

- ア) よく来る 15人
- イ) 何度か来たことがある 54人
- ウ) あることは知っていたが来たことはなかった 22人
- エ) あることを知らなかった 20人

#### ② 水戸市立博物館の魅力度についてどう感じましたか？

- ア) 魅力的 38人                      イ) やや魅力的 50人                      ウ) ふつう 22人
- エ) やや魅力不足 2人                      オ) 魅力がない 0人

### (5) 博物館の全体的な展示、施設、運営などについて、ご意見やご希望がございましたらお聞かせください。（一部抜粋）

#### 【施設について】

- ・駐車場が少ない上狭いのをなんとかして欲しい。
- ・入口がわかりにくい
- ・薬くさいとツレが言ってた。気付かない？
- ・建物が分かりにくい。もっと広い展示場
- ・全体的に暗い印象を受ける。建物が古いので仕方ないか……

#### 【展示について】

- ・もっと歴史展示を増やして！
- ・初めて来たが、無料で面白い展示を見学できて楽しかったです。
- ・今の展示（3F）は、きちんと整理されていてパネルもわかりやすい。

- ・企画展、特別展がいつも素晴らしい
- ・大きな展示品は歴史館や美術館でも見られるので、小さな展示で内容も他ではやらない内容をやっていくのはどうでしょうか。今回満足しています。
- ・展示内容としては、より広域な視点でもいいのでは。
- ・魅力的な目玉展示があれば
- ・水戸市内の生き物等、とても興味深かったです。
- ・いつもさりげなく示唆に富む展示で感激しております。ぜひこの方向で研究公開を続けられますことを願います。
- ・学芸員が出歩いてくれたら、みんな展示に質問できるようになると思います！マンガみたいに解説鶴ポスターもあったらな～。
- ・展示が見やすいと思った。地域の人（中学生）等とも関わりが深いのだと感じた。
- ・いつもさりげなく示唆に富む展示で感激しております。ぜひこの方向で研究公開を続けられますことを願います。
- ・学芸員が出歩いてくれたら、みんな展示に質問できるようになると思います！マンガみたいに解説するポスターもあったらな～。
- ・展示が見やすいと思った。地域の人（中学生）等とも関わりが深いのだと感じた。
- ・特色ある展示が魅力 わかりやすくレベルも高く満足
- ・質素、簡潔でよい
- ・この特別展は、エリア的にも見学時間的にもとても良いと思いました。

**【運営について】**

- ・広報をお願いします。
- ・歴史館もそうですが、もっといろいろなイベントをふやしてほしい。
- ・少し料金を取っても良いのでは……保管も大変だし……
- ・これだけ充実した展示を無料で公開されていることはありがたく、素晴らしいと思います。文化の創造・発展に多大な寄与をされています。
- ・常設含めてであるが図録の販売をお願いしたい。
- ・限られて施設、予算の中で、鋭意取り組まれていることに感謝したい。

**(6) 回答者について（計：117人）※無回答は除く**

**① お住まい**

水戸市	31人	
水戸市外（県内）	37人	ひたちなか市、那珂市、常陸太田市、日立市 他
水戸市外（県外）	41人	会津若松市、宇都宮市、鎌倉市、千葉市、品川区、京都市、島根県松江市 他

**② 交通手段**

電車	26人	バス	14人	自家用車	71人
タクシー	1人	バイク	0人	自転車	0人
徒歩	17人	その他	2人		

**③ 性別**

男性	56人	女性	43人
----	-----	----	-----

**④ 年齢**

9歳以下	1人	30代	17人	60代	21人
10代	14人	40代	22人	70代以上	11人
20代	6人	50代	19人		

**(6) その他ご意見・ご感想がございましたらご自由にお書きください。**

- ・また戦国期を対象にした展示をお願いしたい。
- ・毎回楽しみに来ています。つい先日の人形展も楽しく、今回がらっと変化して戦国武将の書簡手紙は残るので大切だと感じた。
- ・駐車場の階段に手すりをつけて欲しいです。すべりやすいので。
- ・駐車場入口わかりづらかったです。
- ・今回の特別公開はおもしろかった。また、楽しみにしています。
- ・毎回来るたびに新しい発見があり感謝しております。
- ・県庁所在地の博物館として頑張ってください。
- ・今回の企画展の図録が欲しいと思ったので、どうか作成して欲しい。
- ・藤井さん 力のこもった内容の濃い展示を作り上げていただき、ありがとうございます。キャプション・解説が実に分かりやすかったです。見応えがありました。
- ・エレベーターがありがたかったです。
- ・無料では入れるのに展示品が豊富でよかったです。
- ・楽しかったです！同じような企画があれば、また来ます（イラスト入り）
- ・中学生の時に訪れた記憶があり、3階の動物などのブースがお気に入りです。
- ・県内に住んでおり、このような資料を展示していただきありがたいです。
- ・三の丸庁舎の駐車場を割引で使えたりするようになったら嬉しいです。
- ・無料とは思えないほど充実した展示物の量で、非常に満足です。
- ・素晴らしいものを見せていただき、ありがとうございました。
- ・今日は来館が遅すぎましたが、次回はもっと早く来館してじっくり拝見、楽しみたいと思います。

(アンケート回収件数：117件 アンケート回答率：約4%)

### 報告事項(3) 令和6年度博物館事業の実施状況について

#### 【I 資料の収集について】

##### 1 寄贈資料（寄贈者名は敬称略）

###### (1) 自然部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	トビ（剥製） ほか	3	飯田保二
2	ホンドタヌキ（剥製）	1	豊島義男
3	アオウミガメ（本剥製） ほか	2	非公表
4	オオスズメバチ（死体）	1	弥生京子
5	タガメ（死体）	1	櫻井勝英
6	貝類・鉱石・化石等標本一式 ほか	131	常磐大学
7	メジロ（死体）	1	浜口 喜夫
8	植物種子	11種	浜口 喜夫・浜口 悦子
9	示相化石模型 ほか	10	常磐大学

###### (2) 歴史部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	支那事変従軍記章之証 ほか	4	小貫則夫
2	絵葉書 水戸名勝大手橋ノ景	1	藤井達也
3	写真 大正七年度秋季運動会中隊 教練幹部 ほか	6	大島孝弥
4	水戸家覚書	1	久米利和
5	岡教遼書簡〔碑文下書きにつき〕 ほか	5	加倉井孝臣
6	見川誌（原本コピー）	1	後藤一彦
7	（一財）日新塾精神顕揚会蔵資 料	23	一般財団法人日新塾精神 顕揚会
8	江橋家文書	26	江橋恒也
9	第一師団将兵遺家族宛書簡 ほか	8	鶴貝隆夫
10	日新塾母屋棟札	1	一般財団法人日新塾精神 顕揚会

###### (3) 民俗部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	岐阜提灯	1	坂本京子
2	ボックスマッチ ほか	61	湯浅宗浩
3	昭和11年3月 終了記念 水戸市 五軒幼稚園 ほか	2	笠木喜代
4	電気ポット ほか	2	富田淳一

5	ボックスマッチ ほか	23	木村麻里
6	空襲警報発令中の札 ほか	2	宮田武
7	証明器具の部品 ほか	6	富田淳一
8	民俗関係資料	54種	桂木優子
9	国旗・軍隊手帳 ほか	23種	吉川幸江
10	鯉幟 ほか	6	米川英雄
11	雛人形関係	14種	古田幸男
12	内裏雛、五人囃子一式	1	酒泉征男
13	師範学校の授業記録 (M43.3) ほか	11	後藤敦子
14	あみぐるみつるし雛	1	阿部由美
15	内裏雛 (京雛平飾り、平成6年)	1	岡崎水江
16	旧制水戸中学校・高等学校制服関係	6	中山明人
17	茨城県立水戸高等女学校通信簿 ほか	7	湯澤智子
18	御殿雛 ほか	7	非公表
19	女兒の洋服類 (昭和30年代後半) 一式 ほか	13種	伏見親子
20	スーツを利用して作ったベスト	1	市毛佐知子
21	懐中時計と刀の鍔型のペンダ ントトップ2セット	12	栃木敏男
22	着物類一式	15種	後藤敦子
23	ポーズ人形 ほか	8種	伏見親子
24	和服類一式 ほか	108種	中山明人

## 2 取得資料

部門	資料名	点数
自然	コジュケイモ斃死体	1
自然	ヤマガラ斃死体	1
自然	オオスズメバチ (死体)	1

## 3 移管資料

部門	資料名	点数	移管元
民俗	東京オリンピック聖火リレー関係資料	27	スポーツ課

## 【Ⅱ 資料の保存について】

### 1 資料の修復

部門	資料名	内容
民俗	市松人形 1点	顔の欠損の修繕, 左右の首軸のひび割れ修復 等

### 2 設備等の修繕

修繕箇所	内容
1階収蔵庫・3階収蔵庫系統空調機	機器交換
ブレーカー	機器交換
防犯カメラ	機器交換
消防設備	機器交換
鉄柵	錆止め・塗装
のぞきケース	鍵修復

## 【Ⅲ 資料の展示・活用について】

### 1 常設展

部門	テーマ	期間
自然	水戸のいきもの	通年
歴史	テーマ1 筑波山挙兵と幕末の水戸藩 テーマ2 昭和20年の水戸大空襲	通年
民俗	昭和レトロ・あの頃の暮らし	通年
美術	水戸の美術Ⅰ テーマ 現代の水戸の美術	令和6年6月15日～ 6月27日
	水戸の美術Ⅱ テーマ1 近現代の彫刻 テーマ2 水戸の三画人ー立原杏所・萩谷遷喬・林十江ー	令和6年9月3日～ 9月29日
	水戸の美術Ⅲ テーマ1 白牙会の作家たち テーマ2 五百城文哉の世界	令和6年12月7日～ 令和7年1月19日
	水戸の美術Ⅳ テーマ 知られざる水戸の画人たち 櫻井雪館・雪保	令和7年3月22日～ 5月25日

## 2 教育普及事業

### (1) 学校連携事業

#### ① 体験講座・見学等

内 容	校 数	内 訳	人 数
むかしの道具の実体験講座と 博物館見学	7	小学校 7	433
博物館見学	4	小学校 2	10
		中学校 1	5
		大学 1	8
博物館実習	4	大学 4	4
職場体験	3	中学校 3	10
合 計	18		470

#### ② 学校への資料の貸出

部 門	校 数	内 訳	資料内容
歴史部門	4	高等学校 3	戦争関連資料（手榴弾、艦砲射撃弾破 の破片、焼夷弾、千人針、日章旗等）
		大学 1	
民俗部門	1	小学校 1	むかしの道具（火鉢、ゆたんぼ、ネコ ごたつ等）
合 計	5		

## (2) 一般向け事業

### ① みと歴史講座

テーマ	期 日	講 師	参加人数
第1回 筑波山に集った者たち ① 天狗騒乱と筑波山に挙兵した人々 ② 飯田軍蔵とその娘・古宇（こう）	令和6年 12月1日	久信田喜一氏 額賀せつ子氏	116人
第2回 村・町から見る水戸藩の幕末騒乱 ① 豪農の記録に見る幕末騒乱－高部村大森家・野口村関沢家を中心に－ ② 幕末騒乱の中の水戸城下－城下町人の記録から－	令和6年 12月21日	高村恵美氏 藤井達也 (当館学芸員)	111人
合 計			227人

### ② 自然観察会

テーマ	場 所	期 日	講 師	参加人数
春の植物観察会	逆川緑地	令和6年 4月28日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	23人
夏の昆虫観察会	逆川緑地	7月27日	佐々木泰弘氏	25人
秋の植物観察会	逆川緑地	10月6日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	8人
冬芽・葉痕の観察会	逆川緑地	令和6年 1月19日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	15人
野鳥観察会	大塚池	2月1日	後藤俊則氏	16人
合 計				87人

### ③ その他の講座

講座名	会 場	期 日	講 師	対 象
令和6年度基本研修第1部課程前期研修「水戸の歴史」	水戸市役所	4月3日	藤井達也	水戸市新採職員 58人
那珂川流域から見た戦国時代の江戸氏	那珂市中央公民館	5月18日	藤井達也	那珂市文化財愛護協会 80人
ふるさとの歴史を学ぶ「初代藩主頼房と太田」	常陸太田市生涯学習センター	6月8日	藤井達也	常陸太田市生涯学習講座 110人

戦国時代の江戸氏と水戸地域	六地藏寺	7月13日	藤井達也	水戸史学研鑽会 吉田塾 24人
私たちの近くにもあった!?お城のなぞを調べよう!～吉田城の巻～	水戸市立東部図書館	7月28日	藤井達也	水戸市立東部 図書館 10人
佐竹南家と戦国時代の 大子	大子町中央公民館	9月1日	藤井達也	大子町ふるさと 歴史講座 28人
拠点から見る戦国時代の江戸氏—知られざる地域支配の実像—	茨城県水戸合同庁舎	9月10日	藤井達也	茨城県職員退職者の会 70人
常陸山谷右衛門の生涯とその実像	常磐市民センター	10月25日	藤井達也	常磐歴史研究会 22人
水戸大空襲にいたる道—昭和20年の水戸—	好文カフェ	11月30日	藤井達也	水戸史学研鑽会 吉田塾 24人
戦国時代の江戸氏—佐竹氏との関係から—	水戸セントラルビル	12月3日	藤井達也	茨城県年金協会 50人
中世笠間氏研究の最前線「戦国末期の笠間氏—内紛、そして改易へ—」	笠間市立笠間公民館	12月7日	藤井達也	かさま志民大学 30人
那珂川流域から見た戦国時代の江戸氏—城里町との関わりを中心に—	城里町常北公民館	12月15日	藤井達也	城里郷土文化研究会 50人
地域領主から見る茨城の戦国時代—県央・県西編—	常陽藝文センター	12月28日 1月25日 2月22日	藤井達也	常陽藝文センター 150人(3回分累計)
郷土の大横綱「常陸山谷右衛門」	ワークプラザ勝田	3月1日	藤井達也	ひたちなか市吟詠剣詩舞連盟 80人
	合 計			786人

### (3) び～すプロジェクト

#### ① わたしは戦争を忘れない —伝えたい思い—

日 時：令和6年8月2日（金） 14:00～16:00

8月15日（月・休） 14:00～16:00

講 師：2日…小菅次男氏・檜山正義氏 15日…深見キシ氏・柏俊子氏

会 場：みと文化交流プラザ 6階大会議室

参加者数：2日 108人，15日 128人

(4) 博物館資料「石河明善日記」刊行事業

① 石河明善日記解説定例会

17回開催

3 資料の貸出等

(1) 資料の貸出（学校を除く）

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
自然部門	2	①東海村立図書館 ②水戸市埋蔵文化財センター	①昆虫標本 9箱・写真パネル 10枚 ②磁鉄鉱 標本 1点
歴史部門	3	①水戸市埋蔵文化財センター ②個人 ③個人	①常陸国風土記 写本 1点 ②戦争関連資料 7点 ③水戸の空襲マップ他 5点
民俗部門	2	茨城県立歴史館（2回）	①自転車・紙芝居台他 3件 ②戦国機柄の帯他 7点
美術部門	1	茨城県天心記念五浦美術館	木内克作品 5点

(2) 写真・画像使用の許諾（資料貸出に伴うものを除く）

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
自然部門	1	印刷掲載物	・アオダイショウの骨格標本 1点 (教材「ポピーっ子情報誌ひかり！1・2年(1月号))

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
歴史部門	28	研究・講座等 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『イハラキ時事』大正8年10月15日号他 4点 (水戸生涯学習センター「三の丸カレッジ」『時代を切り拓いた女性たち」)</li> <li>・立原杏所「那珂湊図」他 2点 (茨城県立歴史館 講座「日曜歴史館」)</li> <li>・昭和11年水戸市航空写真 1点 (令和6年度弘道館夏期イベント・シンポジウム「文化財を守り受け継ぐー過去から現在、そして未来へー」)</li> <li>・浴徳泉碑拓本 (水戸市立見和図書館「デジタルアーカイブ」)</li> <li>・水戸羅漢寺境内之図</li> </ul>

		<p>(個人研究のため)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空襲後の水戸駅前写真 3点 (茨城県立歴史館「いちようまつり」国立公文書館つくば分館とのコラボ展示)</li> <li>・石河明善日記 1点 (玉造郷土文化研究会『玉造史叢』第66集)</li> <li>・藤田小四郎書・画「慷慨烈士画賛」1点 (みと歴史講座・『茨城史林』掲載)</li> <li>・徳川慶喜公御幼少之日記 1点 (講演「渋沢栄一と弘道館・偕楽園」)</li> </ul>
	印刷物掲載 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水戸城下絵図 1点 (新築分譲マンション広告)</li> <li>・水戸の地層図 1点 (加藤木技術士事務所刊行 改訂『那珂湊の歴史を歩く』)</li> <li>・い賓閣図 他2点 (加藤木技術士事務所刊行 改訂『那珂湊の歴史を歩く』)</li> <li>・錦絵「耕雲齊筑波山麓」1点 (下諏訪町立諏訪湖博物館企画展「浪人塚160周年」)</li> <li>・水戸城下絵図 1点 (個人使用)</li> <li>・写真「那珂川の鮭漁」 1点 (「那珂川の鮭漁」講演とニュース映画上映会)</li> <li>・水戸城復元想定模型 (県立歴史館編『図説 佐竹一族』掲載)</li> <li>・ポスター 撃ちてし止まむ 1点 (塾用問題集『新ワーク歴史Ⅱ』)</li> <li>・写真「柳の木があった泉町広小路」他 3点 (イベント「紀州堀ウォーキング」資料)</li> <li>・い賓閣図 1点 (「い賓閣井戸跡」碑及び記念誌掲載)</li> <li>・大日本史 1点 (書籍『徳川光圀の研究』掲載)</li> <li>・義公生誕300年祭 他 7点 (「三夜さんと花街の記憶とまちづくりのナラティブ」展示)</li> <li>・ポスター 婦人の皆様へ</li> </ul>

			<p>(東京新聞記事「近代茨城のポートレート」)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浴徳泉碑拓本 他2点</li> </ul> <p>(水戸市立見和図書館「デジタルアーカイブ」リーフレット)</p>
		<p>その他</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真「水戸市下市本町通り」1点 (テレビ東京「昼めし旅」)</li> <li>・写真「水戸城大手門」他3点 (テレビ東京「あさこ梨乃の5万円旅」)</li> <li>・空襲後の水戸駅前写真 他3点 (共同通信ウェブコンテンツ)</li> <li>・怪風丸復元模型 (BS-TBS「関口宏一番新しい江戸時代」)</li> <li>・水戸城下絵図 1点 (YouTube動画配信で活用)</li> </ul>

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
民俗部門	1	印刷掲載物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢甚の包装紙 1点 (社史掲載)</li> </ul>

## 協議事項(1) 戦後 80 年事業「いま、戦争を語るということ—水戸市立博物館所蔵品と河口龍夫《HIROSHIMA のタンポポ》を通して—」の開催について

**1 名称** 戦後 80 年事業「いま、戦争を語るということ—水戸市立博物館所蔵品と河口龍夫《HIROSHIMA のタンポポ》を通して—」

### 2 開催趣旨

今から 80 年前、日本は原子爆弾を落とされ、長く続いた戦争が終わりました。そして今日、戦争の時代の記憶は薄れ、もはや遠い過去の出来事となりつつありますが、しかし、今なお世界各地で民族・国家間の紛争や侵略戦争が起き続け、日本の周辺もそうした不測の事態がいつ発生してもおかしくない状況に陥ってしまったようです。どうやら戦争は、私たちが思っている以上に身近な場所に潜んでいるのかも知れません。

私たちは底知れぬ不穏の時代に生きている。本展は、このような観点から、戦争(水戸空襲)の記憶と時間が封じ込まれた水戸市立博物館所蔵品と被爆地広島をテーマに制作された河口龍夫(筑波大学名誉教授、現代美術家)の作品によって織り成される展示を通して、戦争なるものを私たち自身の問題として考える場となることを目的に開催されます。

**3 会場** 水戸市立博物館 3・4階展示室

**4 会期** 令和 7 年 7 月 19 日(土)～8 月 24 日(日) 予定 (32 日)  
※月曜休館(7 月 21 日, 8 月 11 日は開館,  
7 月 22 日, 8 月 12 日は休館)

**5 入場料** 無料

**6 出版物** ポスター、チラシ

### 7 展示作品

(1) 水戸市立博物館所蔵品 18 点

《防衛食器》《木銃》《防空電球》《防毒面》《手榴弾、機銃掃射弾》  
《焼夷弾》《艦砲射撃弾破片》《焼け焦げたズボン》《奉公袋》  
《ミンダナオ島の石》《風船爆弾》《ペリリュー島で拾われた飯盒》  
《蠟燭立て》《煙管、アルミカップ、溶けたガラス》《空襲で焼けた土塊》  
《米軍空襲予告ビラ》《B29 のプロペラ》《防空頭巾(赤ちゃん用)》

(2) 河口龍夫 13 件 91 点

《関係—植物・HIROSHIMA のタンポポ》  
《1995 年の HIROSHIMA のタンポポ》《HIROSHIMA のドローイング》

《関係－地下食料》《関係－鳥の巣箱》《鉛の哺乳瓶》《関係－種子》  
《真珠になった種子》《貝の未来》《鉛の紙飛行機》《関係－トンボと戦闘機》  
《関係－タマムシと潜水艦》《関係－セミと戦車》

## 8 関連行事

- (1) アーティスト・トーク「HIROSHIMA のタンポポ」  
日時：7月19日（土）午後2時～3時30分  
会場：市立博物館4階・3階展示室  
講師：河口龍夫（筑波大学名誉教授、現代美術家）
  
- (2) 水戸の戦災に向きあう－戦争の記憶を伝えるものたち－  
日時：7月26日（土）、8月16日（土）午後2時～3時30分  
会場：市立博物館4階・3階展示室  
講師：玉川里子（元水戸市立博物館館長）  
協力：（一社）オリーブ協会水戸二高支部
  
- (3) ギャラリー・トーク  
日時：8月3日（日）、8月17日（日）午後2時～3時  
会場：市立博物館4階・3階展示室  
講師：担当学芸員

## 協議事項(2) 特別展「(仮) 洋服と和服の 100 年～戦前・戦中・戦後の衣服の変遷～」開催について

1 名 称 特別展「(仮) 洋服と和服の 100 年～戦前・戦中・戦後の衣服の変遷～」

### 2 開催趣旨

現在和服は七五三や成人式などの特別な場合を除き、ほとんど着用されなくなっていますが、80 年ほど前の戦前までは和服が一般的な衣服でした。現在のように誰もが洋服になったのは昭和 30～50 年代になってからです。既製服が大量生産されるのも昭和 40 年代前後からで、それまでは家庭で手作りしたり、近所の洋裁の出来るミシンを持っている人に頼んで縫ってもらったりしていました。またその頃は洋裁を習うための裁縫学校も全国で多数開校していました。

水戸市は県庁所在地ということもあり、明治期以降公立・私立女学校で広く裁縫教育が行われていました。また戦後は多数の洋裁学校が開校されていますが、既製服が大量生産される流れの中でそれらの大半はなくなっています。

当展覧会では日本人の衣服がどのように移り変わっていったのか、実物資料や当時の写真を交えてその経緯を追いつつ、併せて戦前から戦後の水戸の様子も展示します。

3 会 場 水戸市立博物館 4 階・3 階展示室

4 会 期 令和 7 (2025) 年 10 月 25 日(土)から 11 月 30 日(日)まで 32 日間  
※月曜日休館、ただし 11 月 3 日、24 日(月)は開館  
11 月 4 日(火)、25 日(火)は休館

5 入 場 料 一般 200 円 (20 名以上の団体料金 150 円)  
18 歳以下、65 歳以上の方、身体障害者手帳及び療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者とその付き添いの方 1 名は無料、その他各種割引あり

6 出 版 物 ポスター、チラシ、図録

### 7 展示構成

- (1) 洋服の黎明期 最初は軍服や大学の制服などから
- (2) 皇族が先駆となった洋服：皇族の衣裳と本県縁の側近・香川志保子のドレス
- (3) 徐々に広まっていく洋服：契機は大正大震災／改良服の提案／袴からセーラー服へ／学生服の大量生産／戦中の国民服と活動衣
- (4) 洋裁の技術はどのように習得されたのか：裁縫教育と裁縫雛形／婦人誌で学習／各地に於ける洋裁学校の広まり／ミシンの普及
- (5) 水戸周辺の洋装：市内の学校制服の変遷／洋品店や洋裁店、ミシン店の広まり／水戸の洋裁学校／手作りから既製服へ

(6) 憧れのモード：婦人雑誌、少女雑誌に見る服装の変化

8 その他 各種関連行事を開催

## 参 考

### ○水戸市立博物館条例

昭和55年 3月28日

水戸市条例第21号

改正 昭和56年 3月27日条例第20号

平成 4年 9月22日条例第27号

平成24年 3月28日条例第15号

令和 5年 3月27日条例第17号

注 平成24年 3月から改正経過を注記した。

#### (趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(令5条例17・一部改正)

#### (設置)

第2条 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名称 水戸市立博物館

位置 水戸市大町3丁目3番20号

#### (職員)

第3条 水戸市立博物館（以下「博物館」という。）に館長、学芸員、事務職員その他必要な職員を置く。

#### (観覧料等)

第4条 博物館の入館料は、無料とする。ただし、水戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が期間を定めて特別の展示会を催したときは、教育委員会が定める観覧料を徴収することができる。

2 教育委員会が特に必要があると認めるときは、前項の観覧料を減額し、又は免除することができる。

3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

#### (損害賠償等)

第5条 入館者は、博物館の施設、設備又は博物館資料を損傷し、又は滅失したときは、速やかに原状に復し、又は市長が定める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特にやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

#### (博物館協議会)

第6条 博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第1項の規定に基づき、水戸市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（令5条例17・一部改正）

（組織等）

第7条 協議会は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者のうちから、教育委員会が任命する15人以内の委員をもって組織する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により任命された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 協議会に、委員の互選により委員長及び副委員長を置く。

4 委員長は、協議会の会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（平24条例15・一部改正）

（会議）

第8条 協議会は、委員長が招集し、委員長は、会議の議長となる。

2 協議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができないものとし、協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第9条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例の施行期日は、教育委員会規則で定める。

（昭和55年教委規則第11号で昭和55年6月15日から施行）

付 則（昭和56年3月27日条例第20号）

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例による改正後の水戸市立博物館条例第6条第2項の規定により任命された委員の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、1年とする。

付 則（平成4年9月22日条例第27号）

この条例は、平成4年10月1日から施行する。

付 則（平成24年3月28日条例第15号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則（令和5年3月27日条例第17号）

この条例は、令和5年4月1日から施行する。